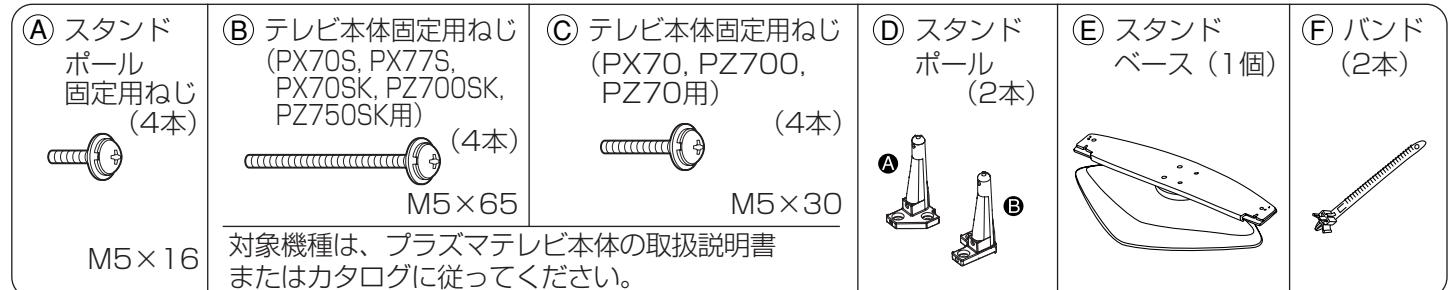


組み立て設置説明書

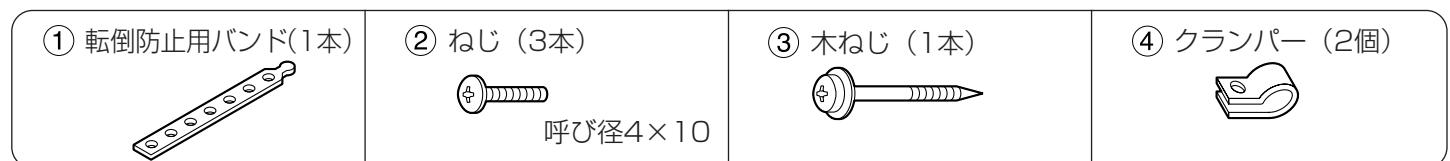
品番

TY-ST42D1-JS TY-ST42D1-JG
TY-ST42D1-JM

スタンド組み立て用部品（組み立て前に部品を確かめてください）

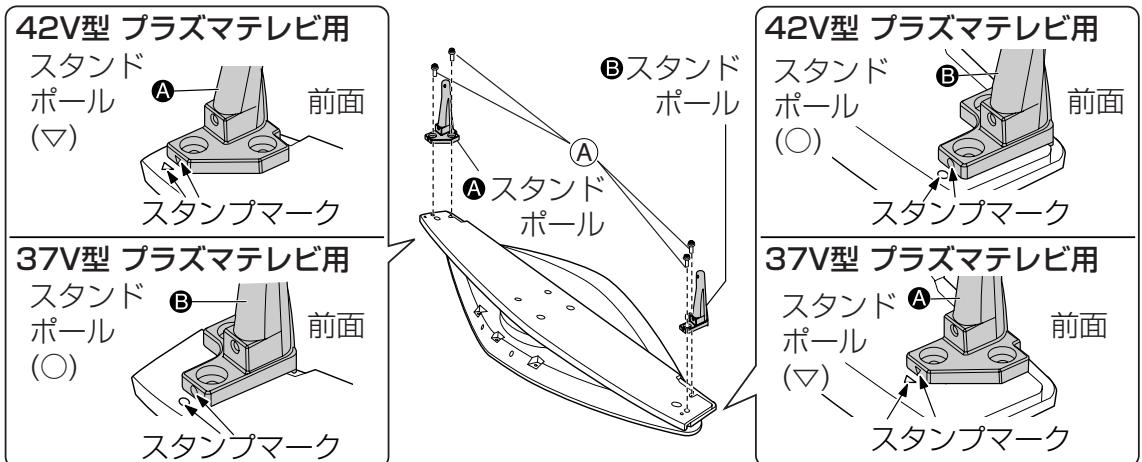


転倒防止用部品



組み立て方法

スタンドポール固定用ねじ④を使って、下図の通り左右のスタンドポール⑤をスタンドベース⑥にしっかりと取り付けます。



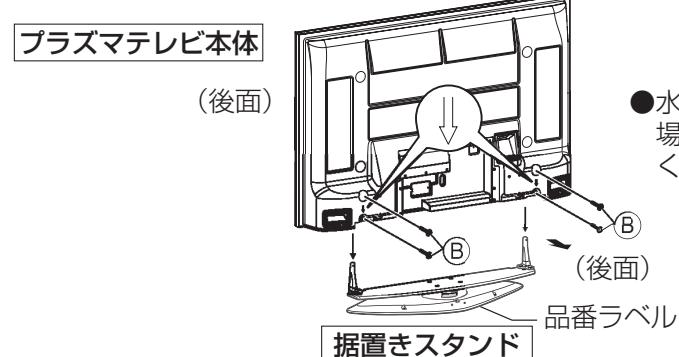
設置方法

（プラズマテレビ本体を包装箱から取り出して据置きスタンドに設置するまでは、平らな床や台の上にきれいな毛布などを置き、その上にテレビの前面を下向きにして置いてください）

1. プラズマテレビ本体を据置きスタンドに取り付ける

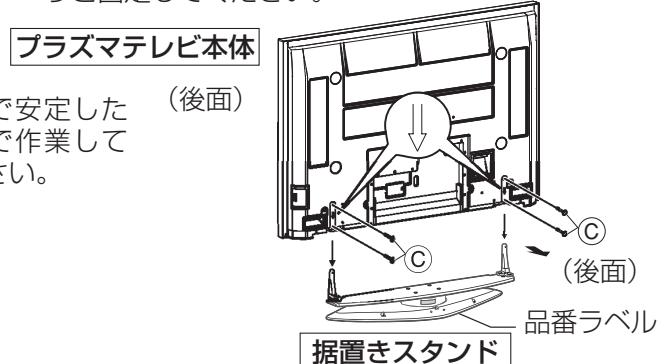
■PX70S, PX77S, PX70SK, PZ700SK, PZ750SK本体の固定

品番ラベルが見えるほうを後側にしてプラズマテレビ本体の穴をスタンドポールに合わせ止まる位置まで入れてください。テレビ本体固定用ねじ④（M5×65）を使って、しっかりと固定してください。



■PX70, PZ700, PZ70本体の固定

品番ラベルが見えるほうを後側にしてプラズマテレビ本体の穴をスタンドポールに合わせ止まる位置まで入れてください。テレビ本体固定用ねじ④（M5×30）を使って、しっかりと固定してください。



・イラストはイメージイラストであり、実際の商品と形状が異なる場合があります。

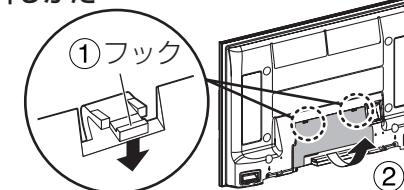
お買い上げいただきありがとうございます。

●ご使用の前に、この「組み立て設置説明書」、裏面の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保存し、必要なときお読みください。

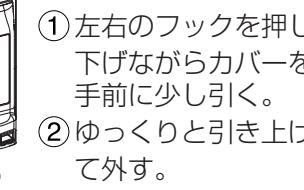
2. 本体から端子カバーを取り外す（端子カバーのある機種のみ）

端子カバーの脱着方法

取り外しかた

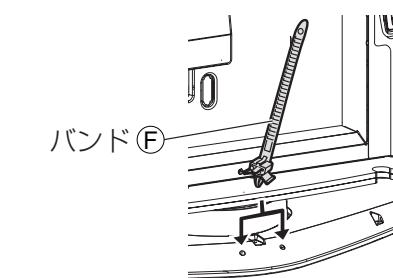


取り付けかた



3. バンドを取り付ける

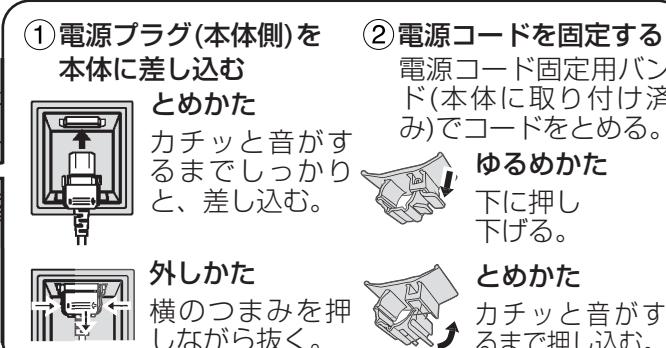
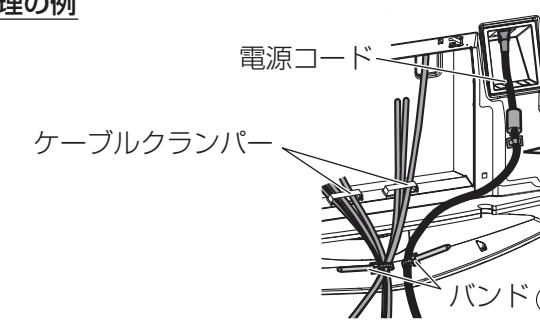
バンド⑤（2本）をスタンドに差し込んでください。



締める
ノブを下方向に押しながら、
バンド先端を矢印方向に押す。
ゆるめる
ノブを下方向に押しながら、
バンド先端を矢印方向に押す。

4. ケーブルの接続と電源コードの固定方法

ケーブル処理の例



※ケーブルの接続は、本体取扱説明書を参照してください。

5. 本体に端子カバーを取り付ける（端子カバーのある機種のみ）

●上記手順2の「取り付けかた」を参照してください。

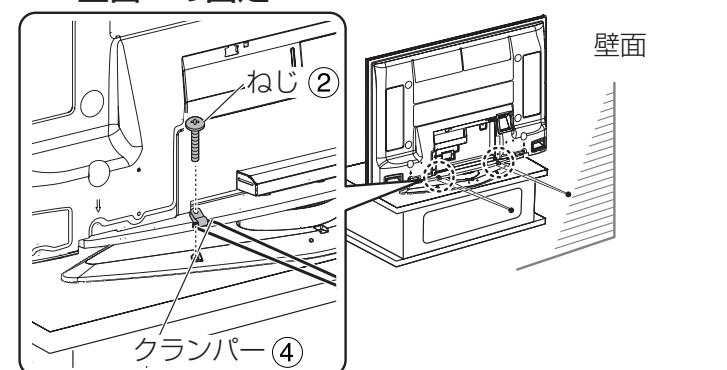
プラズマテレビ本体の転倒防止について

●プラズマテレビ本体はテレビ台および壁面に固定してください。

1. テレビ台への固定



2. 壁面への固定



●丈夫なひもやワイヤーなどの市販品をご利用いただき、しっかりと壁や柱に取り付けてください。

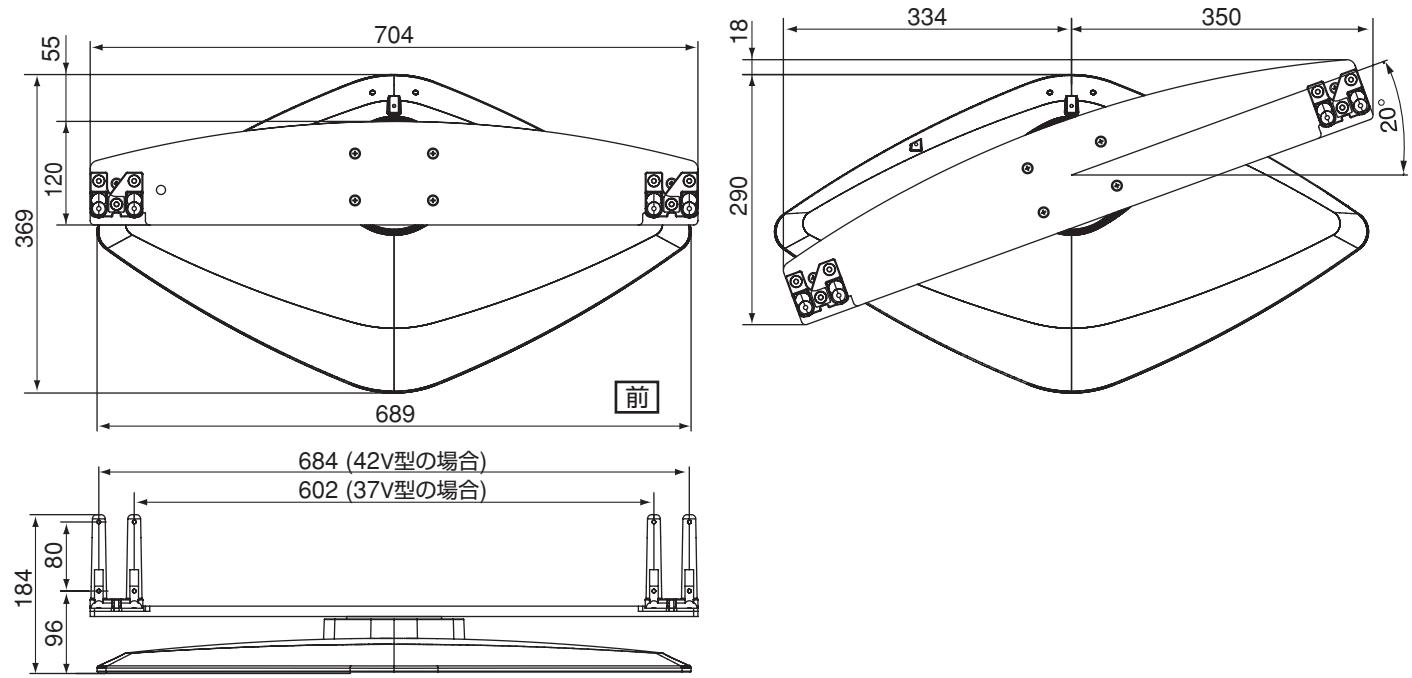
「安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください。」

地震の場合などに倒れる恐れがあります。必ず、転倒・落下防止処置をしてください。

※本欄の内容は、地震などの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、全ての地震などに対し、その効果を保証するものではありません。

寸法図

単位: mm



取り扱い上のお願い

- お手入れは乾いたやわらかい布（綿・ネル地など）でふいてください。ひどく汚れているときは、水でうすめた中性洗剤で汚れを取ってから乾いた布でふいてください。
なおベンジンやシンナー、家具用ワックスなどは、塗装がはがれたりしますので、使用しないでください。
(化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。)
- 粘着性のテープやシールをはらないでください。据置きスタンド表面を汚すことがあります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。
(変質の原因となります。)

据置きスタンド設置上の留意点

- 本体の電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントをご使用ください。
- 機器周囲温度が40 °Cを超えるないように空気の流通を確保してください。
プラズマテレビ本体内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。



この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。



この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

警告

据置きスタンドを分解したり、改造しないでください



分解禁止

倒れたり、破損してけがの原因となります。

注意

カタログで指定したテレビとディスプレイ以外には使用しないでください



倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

禁止

テレビに乗ったり、ぶら下がったりしないでください



(特に小さなお子様にはご注意ください。)
倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

禁止

組み立て時、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかりと止めてください



不十分な組み立てかたをすると強度が保てず、倒れたり破損してけがの原因となることがあります。

曲ったり、いたんだスタンドは使用しないでください



倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

禁止

直射日光を避け、熱器具から離してください



そり・変形・材料の劣化などが発生し、強度低下を招くことがあります。倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

テレビより天面・左右は100 mm以上、後面は70 mm以上の空間を確保してください



テレビ本体には、天面に空気吹き出し孔、底面と後面に吸気孔があり、これらをふさぐと火災の原因となることがあります。

据置きスタンドに付属している転倒防止具を利用し、テレビを固定してください



地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒しけがの原因となることがあります。

テレビを回転させると、周囲に注意してゆっくり回してください



けが、破損の原因となることがあります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

松下電器産業株式会社
映像・ディスプレイデバイス事業グループ

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© 2006 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

—パナソニックお客様ご相談センター—

電話 フリーダイヤル ☎ 0120-878-365

FAX フリーダイヤル ☎ 0120-878-236

365日／受付9時～20時

TQZH841-4